

## 第18回 教育研究評議会議事要旨

日時 平成17年6月8日(水) 13:30~15:05  
場所 事務局 第1会議室  
出席者 21名(欠席者1名)

議事に先立ち、学長から、次のとおり報告があった。

①福利棟1階の男子用トイレ及び学生宿舎共用棟の風呂場に、異物(オキアミ)がまき散らされていた。〔6月3日(金)〕

②本学教員の自宅に、脅迫又は詐欺と推される怪電話があった。〔6月7日(火)〕

③非常勤講師の授業(英語)の講義室入口に、休講ではないにもかかわらず、「休講です。」と貼付され、学生が帰ってしまう事態があった。  
〔6月6日(月) 1時限〕

④被害に巻き込まれないよう、学生及び教職員とも十分注意するとともに、学生に対して、夜間の外出は控えるように指導いただきたい。

引き続き、学長から、次のとおり報告があった。

①材料開発工学課程の教育プログラムがJABEE(日本技術者教育認定機構)の認定を受けた。また、当該認定期間は5年間とされた。

なお、平成17年度は電気電子情報工学課程及び環境システム工学課程が受審する予定であり、平成18年度以降に経営情報システム工学課程及び生物機能工学課程が受審するべく準備中である。

②平成17年度 科学技術振興調整費(文部科学省)に、本学から次の3件が採択された。

イ) 化学系 藤原 巧 助教授「〔革新機能ガラスフォトニック素子の創製〕旭硝子株式会社 中央研究所との共同研究：産学官共同研究の効果的な推進」

ロ) 経営情報系 三上喜貴 教授「〔アジア言語情報技術資源ネットワークの構築〕(我が国の科学技術活動の国際的リーダーシップの確保：我が国の国際的リーダーシップの確保)」

ハ) 環境・建設系 丸山暉彦 教授(研究分担者)「〔活褶曲地帯における地震被害データアーカイブスの構築と社会基盤施設の防災対策への活用法の提案〕(長岡技術科学大学、京都大学、中央大学、東京大学及び早稲田大学の共同参画：減災対策技術の研究開発：安心・安全で快適な社会の構築)」

③平成17年度 産学連携製造中核人材育成事業(経済産業省)に、財団法人 いがた産業創造機構が申請した「長岡ものづくり開発設計人材育成プロジェクト～長岡フェニックス計画」が採択され、本学及び長岡工業高等専門学校が、「主たる事業実施場所(中核教育機関)」として選定された。

④大学院博士後期課程(生物統合工学専攻)の設置申請書を文部科学省へ提出した。

6月14日(火)に「大学設置・学校法人審議会 大学設置分科会 運営委員会」が開催され、意見等があれば6月15日(水)に大学あて連絡が来ることとなっている。

⑤「専門職大学院 技術経営研究科：システム安全専攻（修士課程）」の新設を要求する。

#### 第17回 教育研究評議会議事要旨について

学長から、議事要旨（案）のとおり確認された旨の報告があった。

#### 議 題

##### 1 技術開発センター非常勤講師（客員教授）の選考について

高田 技術開発センター長から、資料1に基づき説明があり、審議の結果、教授会（教授）に付議することを了承した。

##### 2 連携大学院 非常勤講師（客員教授）の選考について

丸山理事から、資料2に基づき説明があり、審議の結果、教授会（教授）に付議することを了承した。

##### 3 平成16事業年度に係る業務の実績に関する報告（素案）について

学長及び丸山理事から、資料3に基づき、当該素案について各系で精査の上、加筆・訂正がある場合は6月13日（月）までに丸山理事あて連絡いただき、全体を整えた上で、22日（水）の役員会及び翌23日（木）の経営協議会で審議して、同月末日までに文部科学省に提出する旨の説明があった。

また、事務局長から、7月19日（火）に文部科学省の国立大学法人評価委員会によるヒアリングが予定されており、各国立大学法人から、当該大学を代表する者（学長又は理事等）が赴いて対応することとなる旨の説明があった。

#### 教授会審議事項報告

- 1 平成18年度 第3学年（推薦選抜）入学者選抜試験 合格者の選考について
- 2 学部課程卒業生（6月）の認定について
- 3 大学院工学研究科修了生（6月）の認定について
- 4 論文博士の学位授与について
- 5 学位論文審査付託に係る審査委員の指名について

学長から、上記1から5について、資料4から7に基づき、平成17年度 第4回〔第328回〕教授会（教授、助教授及び講師）で審議する旨の報告があった。

#### 報 告

##### 1 平成18年度概算要求事項について

学長及び会計課長から、資料8に基づき報告があった。

なお、併せて、学長及び事務局長から、「特別教育研究経費」の要求順位については、教育研究評議会評議員等の意見を聴取した上で、最終的には学長が決定することとする旨の説明があった。

また、学長から、7月6日（水）に文部科学省でヒアリングが行われる旨の説明があった。

## 2 平成 17 年度 日本学術振興会 外国人特別研究員の受入れについて

### 3 学術交流協定の締結について

石崎副学長から、上記 2 及び 3 について、資料 9 及び 10 に基づき報告があった。

## 4 平成 17 年度「大学教育の国際化推進プログラム（海外先進教育実践支援）」の公募について

### 5 平成 17 年度「大学教育の国際化推進プログラム（戦略的国際連携支援）」の公募について

学長及び国際企画課長から、上記 4 及び 5 について、資料 11 に基づき報告があった。

## 6 外部研究資金の受入状況について

産学連携・研究推進課長から、資料 12 に基づき報告があった。

また、学長から、外部研究資金に係る共通経費及び間接経費の配分比率について説明があった。

## 7 技大祭に係る協力依頼について

西澤理事から、技大祭〔9月17日（土）及び18日（日）に実施〕の趣旨等について説明があり、併せて、募金並びに研究室公開等に係る協力方依頼があった。

## 8 平成 18 年度 第 1 学年 学生募集の概要について

入試課長から、基本的事項及び変更となる事項（一般選抜 後期日程を廃止すること並びに普通高校出身者の推薦選抜を新たに実施すること）について報告があった。

また、西澤理事から、平成 19 年度入試の改革事項（案）について説明があった。

## 9 委員会報告

### (1) 学術交流協定に基づく学生の受入れについて

丸山理事から、資料 13 に基づき報告があった。

## 10 その他

(1) 学長から、夏季の服装について、本日〔6月8日（水）〕から、各自の判断で軽装としてよい旨の報告があった。ただし、学外者と会うときなどは、時宜を得た服装に留意するよう依頼があった。

(2) 学長から、寄附金の有効活用を図るため、第 4 回 経営協議会〔平成 17 年 3 月 9 日（水）開催〕の審議及び承認を経て、国債及び政府保証債を購入した旨の報告があった。

併せて、学長及び事務局長から、当該利息については、国際交流事業に活用する旨の説明があった。

また、事務局長から、本件はペイオフ対策の一環でもある旨の補足説明があった。

- (3) 学長から、開学 30 周年記念事業に係る企業への募金依頼を、先生方にお願ひすることとしたいが、どの企業を訪問し依頼していただくか、個々に照会させていただく予定であるので、本学修了（卒業）者の在職者数又は実務訓練依頼者数などを判断材料にして決めていただきたい旨の説明があった。
- (4) 学長及び石崎副学長から、資料 14 に基づき、マレーシア高等教育プログラム（第Ⅲ期）を継続するための「特定非営利活動法人 日本国際教育大学連合（JUCTe）」の動向及び本学の対応等について説明があった。
- (5) 構成員から、研究室の棚の転倒防止措置を検討してほしい旨の依頼があり、西澤理事（総括安全衛生管理者）から、事務局（施設管理課）が現場の状況を直接調査した上で、対応を検討したい旨の説明があった。
- (6) 構成員から、各系における掲示板の使用方法が乱雑であるため、緊急の場合の掲示物の位置がわからないので、所要の区分ごとにプレートを貼付する等の措置を講じてほしい旨の要望があり、早急に対応することとした。
- (7) 学長から、6月4日（土）の匠陵講演会について、謝辞があった。

以 上